



卒業証書授与式



2月28日（金）、京都府立宮津天橋高等学校の第3回卒業証書授与式を加悦谷学舎で挙行了しました。当日は宮津学舎と加悦谷学舎の卒業生193名が一堂に会し、宮津天橋高校第3期生として思い出の詰まった母校を巣立っていきました。

3年前、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により制限のある中で学校生活がスタートしました。多くの行事が制限され、想像していた日々とは違ったかもしれませんが、その中でも高校生活を充実させようと日々の授業や探究活動、部活動などに懸命に励んでいました。2年生になり、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、学校生活の制限がようやく緩和されたことで、文化祭や体育祭などの学校行事を中心に高校生活を思う存分楽しんでいました。3年生では、リーダーとしての自覚が芽生え、学校行事をはじめ様々な場面で後輩達を引っ張る姿がありました。そして2月28日、一人ひとりがこれまで積み上げてきた思い出を胸に卒業式を迎えました。

卒業生の晴れ舞台を祝福する吹奏楽部の演奏に合わせ、卒業生は学年部長、担任を先頭に晴れやかな表情で入場しました。

校長式辞には、「しっかりと学校生活を送り、学力を着実に身に付けるとともに学校行事や探究活動では自ら工夫し感動を共有できる素晴らしい取組をしてくださいました。第3期生の活躍は校長として誇りです。君達には強い意志を持って、人類の未来をよりよいものにすることに貢献してほしいです。君達の素晴らしい能力を正しいことに使ってください。どうかお幸せに」と卒業生のこれまでの活躍を称え、とともに今後の飛躍を願う思いが込められていました。

在校生代表として宮津学舎生徒会長 大江哲平さん（HR22）と加悦谷学舎生徒会長 西橋愛音さん（HR21）が「一心になって努力される

姿は私達後輩にとって大きな刺激となり、学ぶことの大切さを改めて実感しました。これまで私達を導き、支え、そして温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。みなさんのこれからの御健康と、さらなる御活躍を心よりお祈りします」と卒業生に向けて感謝と期待を込めた送辞を述べました。

卒業生代表答辞では、宮津学舎 倉田真緒さん（HR33）と加悦谷学舎 加畑伶さん（HR33）が「振り返れば、楽しい思い出や嬉しかった瞬間もあれば、悔しい思いや苦しい経験もありました。しかし、それらすべてが私達を成長させてくれました。この経験を通して得た友情、絆は私達の宝物です。これから新たなステージへと挑みます。夢を追い、未来に進み続けます。私達を支えていただいた皆様、本当にありがとうございました」と今後の希望に満ち溢れた言葉を述べました。

式が終わり、各教室で最後のホームルームが行われました。卒業生達は担任から手渡された卒業証書を手し、本校で過ごしてきた生活を振り返りながら、これまで何度も一緒に喜んだり励まし合ったりした仲間やこれまで温かく見守ってくれた保護者等への感謝の気持ちを述べ、涙と笑顔に包まれながら高校生活の幕を閉じました。

卒業生達はそれぞれの道で大きく羽ばたいていきます。宮津学舎で培った学びや経験を土台にして次のステージでさらに高みを目指してください。これからも自分の限界に挑み続け自身の可能性を広げてください。そして、宮津学舎が大切にしている「一生懸命の先に本当の愉しさがある」という姿勢を今後も胸に刻んで歩み続けてください。

最後に、保護者等・地域の皆様におかれましては、入学時から本学舎の教育活動に多大な御尽力をいただき誠にありがとうございました。



1年生 Safari（総合的な探究の時間）最終報告会

2月6日（木）、1年生 Safari の最終報告会を行いました。1年生 Safari では、2学期から自分たちの住んでいる地域の課題をどう解決するかを個人・グループで考えてきました。また、11月に実施した中間報告会で、外部講師の方々に多くのフィードバックをいただき、自身の探究テーマを深めてきました。最終報告会では、中間報告会での発表と比べ、地域課題の理解が深まったことで解決策がより具体的になり、どのグループも自信を持って発表をすることができました。外部講師の方から、「自身の好きなことと地域課題を結びつけてみたらどうだろうか」、「やってみないと分からないことがたくさんあるので、行動に移してほしいです」などのアドバイスがあり、2年生 Safari に向けて探究する上で大切なことを学びました。

この機会を通して、生徒は地域社会の課題について理解を深めるだけでなく、地域の魅力も改めて認識することができました。また、多くの地域の方々と出会い、その価値観に触れ、自身の考えを深めることにもつながりました。当日に至るまで講師の方々、地域の方々には本学舎の探究活動の取組に沢山の御協力をいただき誠にありがとうございました。



2年生 Safari（総合的な探究の時間）最終報告会

2月20日（木）、2年生 Safari の最終報告会を実施しました。年度当初に興味・関心のあるテーマを設定し1年間探究をしてきました。10月に実施した中間報告会では、多くの外部講師の方々から御助言をいただき、探究内容を深めてきました。

今回の最終報告会では、はじめに生徒を代表して「宮津で製鉄プロジェクト」、「地域残しのバトンを若者に」をテーマに探究してきた2つのグループが全体場でプレゼンを行いました。続いて、各グループの代表者によるショートプレゼンが行われ、各グループが聴衆に自身のポスター発表を聴きに来てもらえるよう自身の探究活動の見所を伝えました。ポスター発表では、外部講師や同級生、1年生の前で1年間の探究活動の成果をタブレットを活用したり、寸劇したりなど工夫をしながら懸命に伝えました。また、質疑応答やフリーセッションの時間では、外部講師をはじめ多くの人達と交流することで新たな視点や発想を得る機会となりました。外部講師の方々からは、「計画通りにいかなかった経験は今後の人生に生きてきます」、「振り返りをしてほしいです。どうしたらもっとうまくいったのかを考えることが皆さんの未来につながります」など、今後に向けたメッセージをいただきました。

大学教授や地域の事業者など多くの方々に御助言や激励の言葉をかけていただき誠にありがとうございました。



天橋芸術祭 2024

2月7日（金）から9日（日）の3日間、宮津市民体育館で天橋芸術祭 2024 を行いました。書道・美術の授業で制作した生徒の作品、建築科の授業で作製した製図、書道部・美術部・写真部による展示、小学生建築デザイン展の応募作品など様々な作品を展示しました。また、8日（土）に予定していた琴部・吹奏楽部・合唱部（加悦谷学舎）による演奏発表は雪の影響で残念ながら中止となりましたが、小学生建築デザイン展の表彰式や茶道部（加悦谷学舎）による呈茶は予定通り実施することができました。悪天候の中での実施でしたが、3日間で延べ669名の方々に来場していただきました。地域の方々をはじめ多くの方々に作品を見ていただくことで日々のモチベーションにつながっています。本校の教育活動に興味をもってください誠にありがとうございました。本校は地域貢献・発展のために、引き続き励んでいきます。



生徒会レポート

みなさん、こんにちは！書記局です。突然ですが、「屋根のない渡り廊下」と聞いて、みなさんはどのように感じますか？

宮津学舎の校舎では、各棟の3階をつなぐ渡り廊下に屋根がありません。屋根がないことで、風に吹かれたり、雨に濡れたりして不便に思うかもしれません。しかし、実際に過ごしてみると、とても開放感があり心地よさに気づきます。

春には、爽やかな春風を感じながら友達とお昼ご飯を食べたり、舞い上がる桜の花びらの中を歩いたりすることができます。夏には、青々とした山々や広がる空を眺め、秋には中庭の木々が赤や黄に色づく様子を楽しめます。冬には、積もった雪の上を友達と駆け抜けるなど、一年を通して四季を身近に感じながら学校生活を送れる特別な場所です。放課後に友達と過ごす場としてもおすすめです。

